

令和7年度 事業計画書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

I 基本方針

愛媛県八西地域を中心とした南予地域の医療を担う医師の確保を目的として、継続した広報・PR活動により奨学生の獲得に努めるとともに、指定医療機関の見学をはじめとした支援行事の実施により、モチベーションの維持と地域医療に対する意識高揚を図る。

II 具体的実施事項

1. 奨学生の採用および支援

(1) 7年度奨学生の採用

申請書類の審査および面接による選考を行い、奨学生を4名程度決定する。

(2) 奨学金の貸与、支援金の支払い

奨学金を偶数月に2ヶ月分をまとめて貸与する。

(令和7年度貸与予定額)

学年	人数	内 訳	合 計
1年生	4名(予定)	180万円×4名	7,200,000円
2年生	2名	180万円×2名	3,600,000円
3年生	2名	180万円×1名 216万円×1名	3,960,000円
4年生	2名	180万円×2名	3,600,000円
5年生	3名	180万円×2名 240万円×1名	6,000,000円
6年生	0名	—	—
計	13名		24,360,000円

(3) 奨学生への支援

- a. 南予地域の指定医療機関を訪問して院内見学や意見交換など実施し、地域医療に対する関心や理解を深めてもらう。

(実施時期) 原則として夏休み期間中

(訪 問 先) 市立八幡浜総合病院、市立宇和島病院、市立大洲病院、
西予市立西予市民病院、西予市立野村病院

- b. 奨学金貸与時に「激励メッセージ」をメール発信する。

- c. 奨学生全員を対象とした顔合わせ懇談会の開催(夏休み期間中)

- d. 年度末に財団職員と懇談を実施し、授業や実習への取り組み状況を確認するとともに、将来の南予地域での勤務に対する認識の共有と不安解消を図る。

2. 奨学生募集および広報・PR活動

- (1) 愛媛大学医学部の協力を得た奨学生募集および広報・PR活動の実施
 - 医学部ホームページへ奨学金制度を掲載
 - 学部内に募集ポスターを掲示
 - 医学科合格者へ奨学金制度のリーフレットを発送
 - 採用人員未達時に大学のEメールを使って医学科生に募集案内を実施

- (2) 八西地区を中心とした自治体・医療機関・高校等へ、ポスターの掲示やリーフレット備付の協力依頼
 - 南予地域の関係自治体
八幡浜市役所、伊方町役場、宇和島市役所、大洲市役所、西予市役所
 - 南予地域の指定医療機関
市立八幡浜総合病院、市立宇和島病院、市立大洲病院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院
 - 県内の主要な県立高校および私立高校
南予地区：八幡浜高校、宇和島東高校、宇和島南中等教育学校、大洲高校
中予地区：松山東高校、松山南高校、松山西中等教育学校、松山中央高校
愛光高校、済美高校、済美平成中等教育学校、新田青雲中等教育学校
東予地区：今治西高校、西条高校、新居浜西高校
 - その他
八西地区の経済団体、金融機関、商業施設、道の駅、大学受験予備校、医系専門予備校、学習塾 など

- (3) ホームページや広報誌などを活用した広報・PR活動
 - ホームページで適時適切な情報発信
 - フェイスブックやSNS広告の活用
 - 四国電力(株)発行の広報誌へ募集情報を掲載
(ライト&ライフ、伊方だより、社内報「てらす」)
 - 八幡浜市発行の広報誌へ募集情報を掲載
(広報やわたはま)
 - 愛媛大学医学部医学科在学生を対象にした病院見学の実施
(採用目標人員に満たない場合に奨学生の見学に合わせて実施)

3. 財団業務の適切な実施

- (1) 理事会、評議員会の円滑な運営
- (2) 公的機関への速やかな届出
- (3) 会計基準に則った適切な会計処理
- (4) 新しい公益法人制度(R7/4/1~施行)への適切な対応

以 上